



ティーカップモノグラフ
NO.1292

カカシさんは
誰かが認める
里の首だ





お願いします

はい

カカシさんになら
抱かれてもいい！
って結構本気で思う

カカシさん
抱かれてもいい！
って結構本気で思う



今晩空いたら

さー



きつい任務明けても
いつも種やかで
神土的



俺はそれだけで
胸がいっぱいだから



カカシさんが



教え子つながりで
たまに飲んだりも
するけど

お疲れ様
でした！

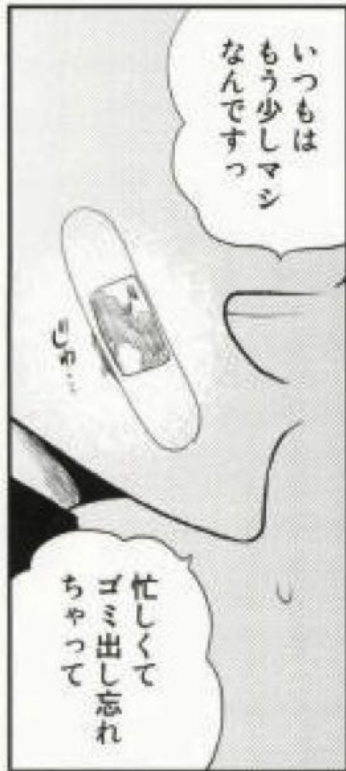
ありがどう
ワ班！！

カキーン



さー









俺ドン引き
しちゃった
んですよ...

ははは

くのいち
は化粧濃
いので
からね

へえ
それで?



その人とは
今も付き合
ってるの?

いいえ
その後ふ
られました



まさか今頃
あいつの気持
ちが痛いほど
わかるなんて

見ないでっ

いやあああ

あーあーあ
あーあーあ
あーあーあ

それで

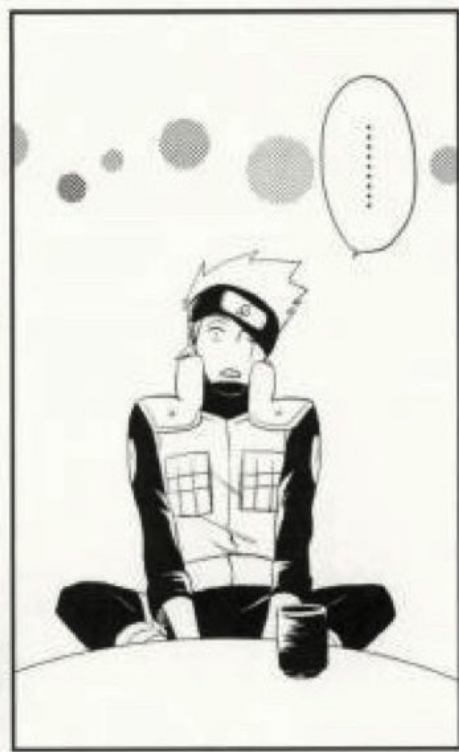


ご用件は

コナン









遅くまで
ごめーんね

お茶とつても
美味しかったです



さて
そろそろ
帰ります

コトッ



アオーッ



いえいえ
先生とお話していると
楽しくてつい長居を
してしまいました

あ...っ
こちらこそ
お引き留めして
すみません...



もちろん!

あ...でも...
散らかって
ますけど...

汚部屋...



おっ俺も
すごく楽し
かったです



じゃあまた
お邪魔していい?

そう?



それから
夢のような
毎日でした...



カカシさんは
本当にしよっちゅう
来てくれた



おかえり
イルカ先生



おおっ

こんなに
片付いてるの
3年ぶりに
見た!



まあ、
そんなの
食べて!

お腹減った
のなら作って
あげるから



うおおお
絵に描いた
よーな夜食!!

イルカせんせー
お風呂沸き
ましたよー

はい〜
入ります〜



しあ
わせ〜



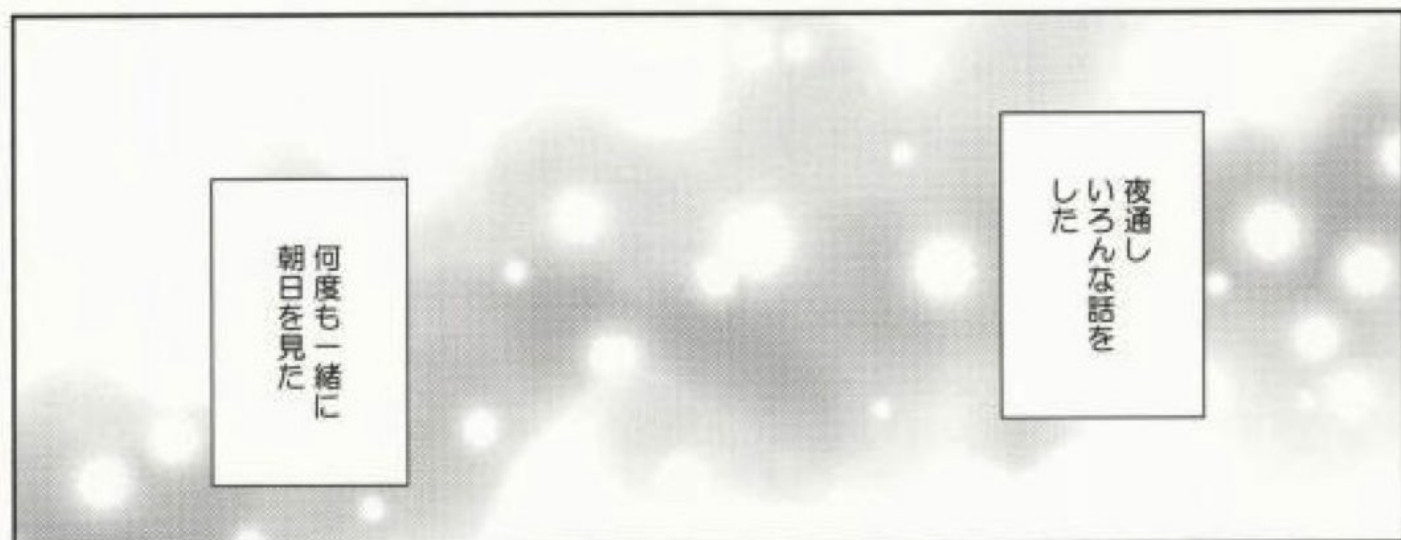


ああ
ごめん

オレもお風呂
借りるね

…カカシさん？

ふー
さっぱりした



何度も一緒に
朝日を見た

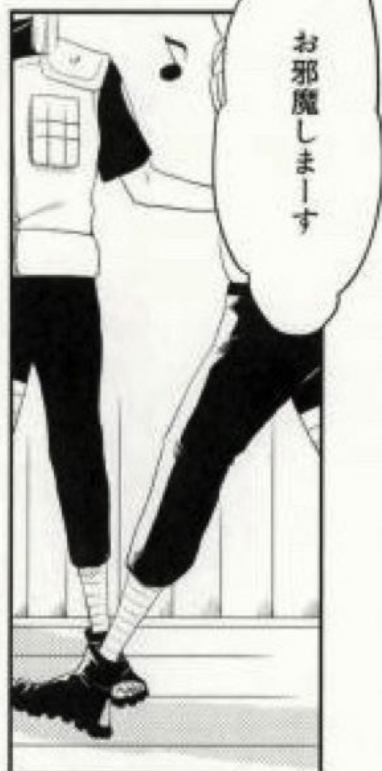
夜通し
いろんな話を
した



今度オレの部屋
にも遊びに来てよ

とんとん
親密になっていった

まるで
恋人同士
みたいに









キヤ

親密に
なりすぎました…

おはよう



せんせ
朝ですよ

うー！

おはよう

……



カッ

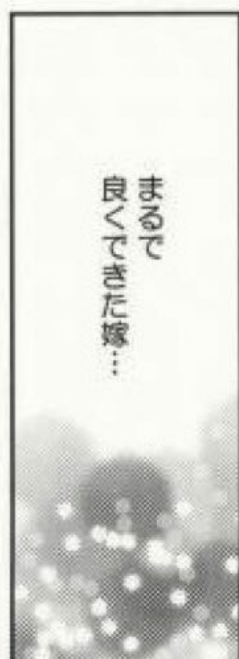


がばあ

うおあ
遅刻——！！

おはよう

……





遅れて
申し訳ありま
せんでした



いや~~~~
大変でしたあ

ま
諸事情あり
まして



ああ……
やけに時間が
かかったねえ

干



イルカの家
入り浸っていると
聞いたぞ

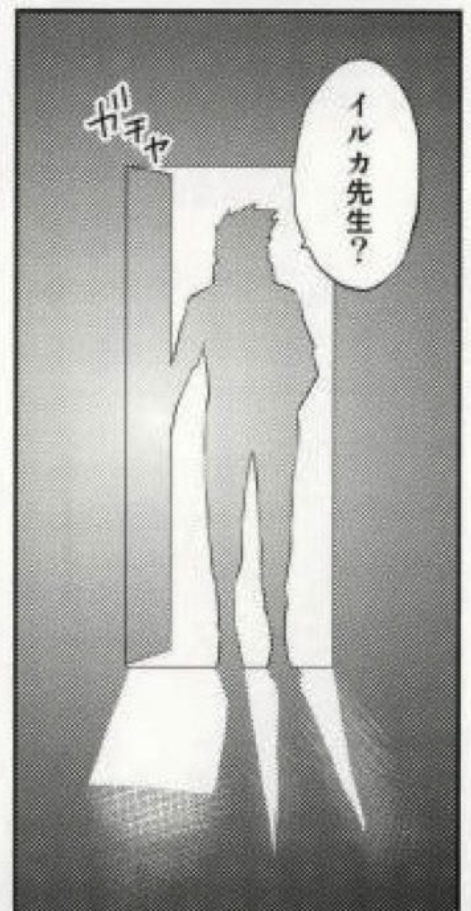
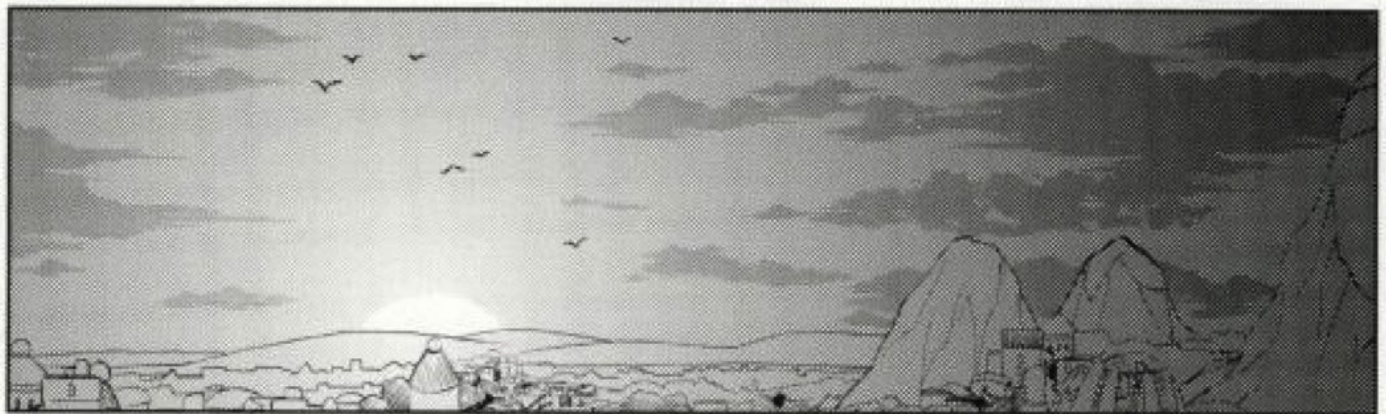
ひた

あいつに迷惑を
かけるのは止める



まったく……









もしあっさり
譲ってくれたら
どうしようかと
思っていました

任務が
終わっちゃいます
からね

調査中って名目で
ここに通ってた
わけですし

だから
家出なんて
しちゃダメ

な

どこにも
行かせませんよ

やっと手に
入れたのに

そんなの…



それに
オレを捨てたら

夜食のおにぎりと
玉子焼きはもう
作ってあげませんよ

う…



ちょ

カカシ…
さ…んっ



だいたい…
湯呑み調査が
何の任務に
な…る…

ちょ…
やめ…っ



や…

うあ

ん…っ

ああっ

三代目は—



ただの置物から
貴重な忍具まで

三代目は色々な
ものを沢山の人に
渡していました



オレの報告書は
1292番目
でした

いま五代目が
それらの目録を
作り直していて



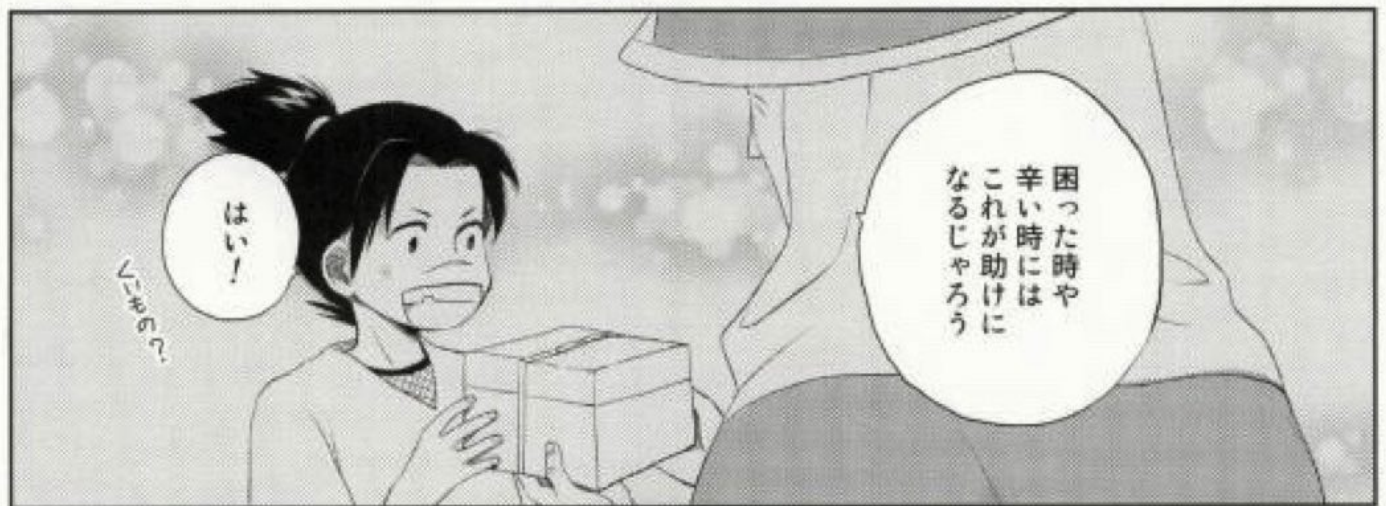
それで…
俺の湯呑みは…!?

細かいものまで
全部調べてました
からね



えっ
そ…そんなに
たくさん!?









俺 説明書とか
読まない人間
なんです!!



だって術の
発動方法
知らなかった
んです

箱の裏書きに
印の組み方
書いてました
けど



え。

.....

困った時には
助けになるじやまじ



後日
カカシさんは
大荷物を抱え

——と聞いて
俺の部屋に
転がり込み

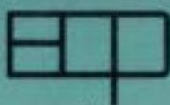
嫁に
来たらしいの



俺にカカシさんを
くれた湯呑みは

カカシさんが
神棚に置いて
毎日拜んでる





el condor pasa

NARUTO K*1

FANBOOK ECPN-029